

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。  
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2013年10月発行

やっと本格的な秋がやってきましたね。今年の夏は本当に記録的な暑さが続き、ホッと一息というところですが、夏の疲れが出やすい時期でもあります。皆さん、まずは自分の身体のメンテナンスをしっかりと行ってください。そして、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋(\*^\_^\*)を楽しみたいですね。

今月から、「さんかくカレッジ2013」もスタートします、皆さんのご参加お待ちしております。

## 内閣府「地域における男女共同参画連携支援事業」

### 「防災とまちづくり、そして男女共同参画」

に取り組みます。



四日市市では、地域の中での男女共同参画をすすめるために、自治会へのアンケート調査をはじめ、地域活動で女性が活躍するために何が必要か、また何が出来るかを地域住民同士で話し合う機会を持つという取り組みを、市民団体と行政が、自治会とも協働して進めてきました。

さらに、この9月からは、地域での女性の活躍促進が必要であることを、防災を切り口に地域の中で考えていこうという取り組みを始めました。この取り組みも、NPO法人四日市男女共同参画研究所を中心に、地域住民や県内で活動する市民団体、行政と一緒に取り組みを進めていこうというものです。

今年5月に内閣府がまとめた「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」をテキストにし、まずは、広く市民にこの「取組指針」を知っていただくこと、そして、災害用の備蓄や避難所運営など具体的な取り組みを進める際に、常に男女共同参画の視点が必要であり、またそれは平常時からの男女共同参画の推進が基礎となることを市民と一緒に考え、実践につなげていきたいという思いを込めた取り組みです。

取り組みの内容は以下のとおりです。この事業の趣旨に賛同し、行事にご参加いただける 応援団 も募集しています。詳しくは、“はもりあ四日市”までお問い合わせください。

#### 第1弾 9/19 10:00~

##### 「防災計画懇談会」を 開催しました。

市の防災計画について危機管理室から説明を聞いた後、防災・減災に関する様々な計画やマニュアルづくりの場で男女共同参画の視点をきちんと持つことの大切さを確かめ合い、そのためには市として今後どのような取り組みが必要か、また市民が何ができるかについて懇談しました。

#### 第2弾 11月7日 13:30~

##### 内閣府職員による 「取組指針」の説明会を開きます。

内閣府男女共同参画局がまとめた「男女共同参画視点からの防災・復興の取組指針」について、みんなで勉強します。自治会、地区防災隊、PTA、民生委員さんなど、各地区で活躍してみえる方々にたくさん参加していただきたいと思います。自分たちのまちの計画やマニュアルの作成・見直し時の指針として活用していただけるよう、分かりやすいパンフレットも準備します。

#### 第3弾 11月下旬~12月中旬

##### モデル地区(3地区の予定)で 地域講演会&懇談会を開催します。

東日本大震災や阪神淡路大震災の被災者でもあり、被災後も女性の視点から様々な取り組みをしている講師の方々の話しを聞き、自分のまちの防災・復興に女性の視点を反映させるためには何が必要か、これから私たちは何をしなければならぬかを考え合います。地域で活躍中の方も、今まで地域活動に縁がなかった方も、自分たちの命を守るための活動について、一緒に考えましょう。

#### 第4弾 (26年) 2/9 14:00~

##### フォーラム「防災とまちづくり、そして男女共同参画」を開催します。

2月7日から始まる「はもりあフェスタ」のエンディングとして、これまでの取り組みを総括し、地域からの報告も交えながら、東日本大震災女性支援ネットワークの共同代表であり元ジャーナリストの竹信三恵子さんの講演会を行います。男女共同参画の視点からの防災・復興への取り組みが、市内の全地域へ、また県内各市町へと広がっていくよう、今後の取り組みにつなげていきたいと思ひます。

# “チャレンジショップ”

あなたの、手作り作品を販売してみませんか？



いつか……  
起業してみたい！

家事や育児など家庭も  
大切にしたい、でも自分  
の夢も実現させたい！

手作り品を通してネッ  
トワークをつくりたい！

日時 平成26年2月8日(土) 10:00~15:00

会場 本町プラザ 1階ホール他

内容 「はもりあフェスタ」(7日~9日)開催中に行う、  
手作り品(パッチワーク、アクセサリなど)の販売  
ネイルアート・マッサージ・ランチサービスなどの提供

申込方法 12月3日(火)までに  
Eメール、FAXでお申込みください。

募集数は30組程度です。

応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

(市内在住・通勤・通学の方を優先します)

出店の可否は12月10(火)までに連絡します。

託児あります。(有料、6カ月~小学校3年生程度)



出店者説明会及びプチ起業入門講座(出店者は必ず参加してください。)

12月21日(土) 10:00~12:00

・参加費:無料 ・託児有:(無料、6カ月~小学校3年生程度)

・本町プラザ 1Fホール ・共同出店者の参加も可

“チャレンジショップ”の申込用紙は、はもりあ四日市、各地区市民センター、  
又は「はもりあ四日市」及び四日市市のホームページからも入手できます。

本町プラザで開催 **さんかくカレッジ2013** のご案内!

**締切り後でも空きがあれば参加できますので、お問合せください。**

(記載順、日時・定員・締切日)

「老いの支度」10/8、10/22、11/12、11/26(火曜日)13:30~15:30・60人、10月3日

~老いを楽しみ、豊かなシニアライフを自発的に生きるために~

「とてもぜいたくな読書会」10/12、11/16、12/7(土曜日)14:00~16:00・30人、10月1日

岩波新書「リストラとワークシェアリング」を著者(熊沢誠さん)と共に読む

「パパとクッキング!!」10/19、12/14、2/15、(土曜日)・9:00~12:30・親子12組、10月1日

~笑顔のレシピでパワーアップ~

詳しくは、「はもりあ四日市」又は、四日市市のホームページをご覧ください。



ワーク・ライフ・バランス向上セミナー

# 経営者も従業員も満足する企業経営



## 部 講演会 鼎談「経営者も従業員も満足する企業経営」

【日 時】平成 25 年 11 月 6 日 (水) 13:30~15:00

【会 場】四日市市総合会館 8 階 視聴覚室

【内 容】市内でワーク・ライフ・バランスを推進している企業(2社)から取り組み状況などをお話しいただき、「働き方の変革」と「付加価値向上」への認識を深める講座です。

【出 演】前田 光久さん(旭電気株式会社 代表取締役)

小林 政人さん(一般財団法人食品分析開発センター SUNATEC 理事・センター長)

渥美 由喜さん(東レ経営研究所 研究部長)・コーディネーター

【定 員】200 人程度



## 部 研修会 「タイムマネジメントと業務改善の手法」

【日 時】平成 25 年 11 月 6 日 (水) 15:15~17:15

【会 場】四日市市総合会館 8 階 第 4 会議室

【内 容】タイムマネジメントなどについて講義形式で学んだ後、自分の役割認識、行動分析などを行い、優先順位の設定や効率的な準備等について学びます。

【講 師】渥美 由喜さん

【定 員】70 人程度

【対 象】市内事業所の経営者、管理職、総務・人事担当者など(一般の方もご参加いただけます。)

【受講料】無料

【申込み・問合せ】四日市市男女共同参画センター「はもりあ四日市」まで

今月のキーワード

## ワーク・ライフ・バランス

仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発などにかかる時間の割合は、年代によっても、家族構成によっても一人ひとり違います。

「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」とは、誰もがさまざまな働き方や生き方に挑戦できる機会があり、子育てや介護が必要な時期など、それぞれがおかれた状況に応じて、多様で柔軟な働き方ができる状態のことをいいます。

「バランス」という単語が使われていますが、仕事か仕事以外かどちらかを選ぶとか、50:50でバランスをとるというものではありません。あくまで、一人ひとりのライフステージに応じた望ましいバランスという意味です。

メリハリのある仕事をおこなうことで仕事以外の生活にゆとりが生まれ、仕事以外の生活に必要な時間が確保でき、様々な生活体験、自己研鑽を積むことによって、より効率的で質の高い仕事が可能になる。これがワーク・ライフ・バランスです。



男女共同

## さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話しを聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

私は、『女性限定 みえ防災コーディネーター育成講座』を受講しています。県内でも大規模地震の発生が危惧されていたり、集中豪雨や台風などの自然災害にたびたび見舞われています。このような状況の中で、この講座は、平常時は自主的に防災啓発活動などを行い、災害時は公的な組織と協働して復旧・復興活動を支援するための、意識・知識・技能を有するコーディネーターを育成するもので、「三重大学地域圏防災・減災研究センター」が三重県防災対策部と協働で開講しました。

この講座、何故「女性限定」なのでしょうか? 「防災＝男性」というイメージが強くあることから、被災地や避難所での日常生活において、女性の視点が反映されませんでした。そこで今回の講座では、女性が平常時から、地域や職場において意思決定の場に参画すること、また地域での防災・減災を目指す実践的な活動を行うことが受講者に求められています。

講座は、全 13 回、12 月まで続きます。

(^ がんばるぞ~

【担当: Y】

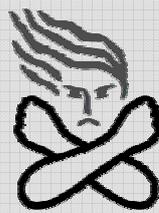
相談室  
から

# 平成25年度はもりあ四日市DV防止講演会

## 「声なき声を聴くDV相談」 をめざして

DVの状況を子どもたちに見せること、  
聞かせること自体が虐待です。  
DV被害者とその子どもたちのために、  
私たちがどうつながっていけばよいのでしょうか。  
私たちができることを、一緒に考えてみませんか。

11月12日～25日は  
「女性に対する暴力を  
なくす運動」期間です。



女性に対する暴力根絶  
のためのシンボルマーク

11月14日(木)

14:00～16:30(開場13:30)

場所 四日市市総合会館 7階 第1研修室

定員 100人

参加費 無料

託児 無料(6カ月から未就学児まで)

11月8日(金)までにお申込みください。

◆お問合せ・お申込みは、はもりあ四日市まで

すずき あやこ  
講師 鈴木文子さん

三重県精神薄弱者更正相談所(現障害者相談支援センター)の心理判定員、市立四日市病院眼科の視能訓練士から、平成5年に女性課(現男女共同参画課)がスタートした時点から設置された相談室の婦人相談員として相談業務に携わる。

退職後は東海女子短期大学、金城学院大学、高田短期大学などで福祉関係の非常勤講師を勤め、四日市市男女共同参画センター相談室のスーパーバイザーとして相談員の資質向上のための指導と、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」の女性相談専門員として、女性のための相談事業の推進をしている。

参加者募集!

## 第1回ママたちの再チャレンジ応援 キャリアサロン “自分らしさのを見つけ方～想いをカタチに～”



【テーマ】「三重ママサロン - ゼ club から学ぶ多様な働き方」

【日時】10月18日(金) 午前10時～12時

【会場】本町プラザ(四日市市本町9-8) 2階 第1会議室

【内容】働くママを応援する団体の主宰者が、女性の生き方について講義し、参加者との意見交換を行います。子育てしながらもう一度働こうと考えている女性など、この機会にぜひご参加ください。

【講師】山田 舞さん(三重ママサロン-ゼ club 主宰)

略歴: 2009年に女性の美をお手伝いするサロン「プライベートサロン im-home」開業。

「三重ママサロン - ゼ club」など複数の市民活動団体の代表も務める。

「三重ママサロン-ゼ club」: 子育て・出産により保有資格を上手く活かさきれていないママに当クラブでの教室の開催、イベントの出店などで活躍していただき、スムーズな社会進出のきっかけになるような企画・運営を実施。自らの起業・開業のための参考に役立つ企画を行っている。

【定員】20人

【対象】現在子育て中で、今後働こうと考えている女性

【参加費】無料

【託児】無料(10月11日(金)までにお申込みください。)

【申込み】株式会社百五経済研究所(電話:059-228-9105)へ、氏名・住所・連絡先電話番号・託児の有無を開催日の10月11日(金)までにご連絡ください。

主催: 三重県雇用経済部雇用対策課 共催: 四日市市男女共同参画課

お詫び

先月発行しました「はもりあ62号」の中で「四日市市人権擁護委員協議会」を誤って「四日市市人権擁護委員会」と記載しておりました、関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしました。ここにお詫びをし、訂正いたします。

四日市市男女共同参画センター「はもりあ四日市」電話 354-8331・FAX 354-8339

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp